

## 特別講演 1

### 「長引く咳の外来診療」

福井県立病院 呼吸器内科 主任医長

小嶋 徹 先生

咳は一般外来を受診する主訴で最多となっており、米国でも医療機関を受診する第1位の症状で年間100億円以上の医療費が費やされています。

3週間以内の急性咳嗽は感染症によるものが圧倒的に多いですが、3週間以上持続する長引く咳（蔓延性咳嗽）となると、鑑別診断および治療は多彩となってきます。

この長引く咳に対しての外来での診断および治療に関して、明日から使える、できるだけシンプルで明快なお話ができればと考えております。また、吸入薬を中心とした薬剤の選択方法にていてもお話ししたいと考えております。